

## 3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムコマーシャルパーキング グラフィックスの貼り付け方法

### 定 義

本説明書は 3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムグラフィックス Commercial Parking Graphics(以下フィルムと表記)の貼り付け方法に関し説明するものです。

### 施工前に準備する道具・工具

フィルムを施工する際に次のような道具及び材料を準備して下さい。

- 貼り付け道具(プラスチックキージー(フェルトパッド付き)または PFA-1、ゴムハンマー)
- 路面清掃道具(水、イソプロピルアルコール、ホウキ、ちりとり)
- マスキングテープ、カッター、フィルムカット用作業板、ポリ袋(剥離紙等廃棄用)、ヘルメットなどを必要に応じて用意して下さい。
- 施工環境が低温の場合(10°C以下)は、ヒートガン(推奨;温度 500°Cまで加熱可能)、手袋(やけど防止用)、電源ドラム、延長コード、発電機(交流定格出力 2.4kVA 以上を推奨)を必要に応じて用意して下さい。
- 下地処理及び調整が必要な場合は、プライマー(住友スリーエム社製 DP-900N シリーズ)、刷毛、ペイント用ローラーなどを必要に応じて用意して下さい。

### 貼り付け時の環境温度条件

- フィルムの貼り付けは、原則として貼り付け下地の温度が 10~38°Cの環境下で行って下さい。
- 貼り付け下地の温度が 10°C以下の場合は、赤外線ランプ、ジェットヒーター、ヒートガンなどで貼り付け下地の温度を 10°C以上に暖めてから貼り付け作業を行って下さい。なお、10°Cを下回る施工環境の場合はプライマーのご使用を推奨します。
- 貼り付け後もできる限り 10°C以上を保ち、接着力が向上するようにして下さい。

### 貼り付け時の作業場所条件

- 細かい砂利などが貼り付け下地とフィルムの間に入りますと十分なフィルム接着力が得られませんので、ほうきなどで除去してください。仕上げに粘着テープを使用することでより効果があります。
- 屋外の現場等で作業する場合には、雨天日は避けてください。また降雨後の場合、貼り付け下地表面が乾燥してから施工して下さい。

### 保管・運搬・廃棄

- 施工作業場所での保管は、平らもしくは印刷面を外側に直径が 15cm 以上の円になることを目安に大きく丸め、極力直射日光等の当たらない環境で保管して下さい。
- 運搬は、印刷面を外側にし、6 インチコア(直径約 15cm の紙巻等)に巻きつけて運搬して下さい。
- 廃棄は、基本的には産業廃棄物として扱うことになります。従って、一般ゴミとは区別して処理して下さい。

### 貼り付けに適する下地・適さない下地

フィルムは次のような貼り付け下地への施工に適します。

- 密粒アスファルト（凹凸の小さい）
- コンクリートやモルタル

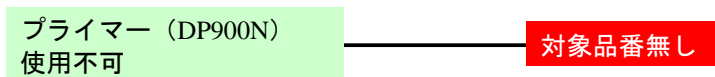
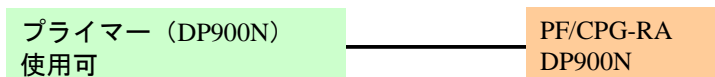
フィルムは次のような貼り付け下地への施工には適さない、もしくは長期間のご使用に向きません。

- 排水アスファルトや凹凸の大きなアスファルト
- 水分の染み出しがある下地
- 目地を有する下地

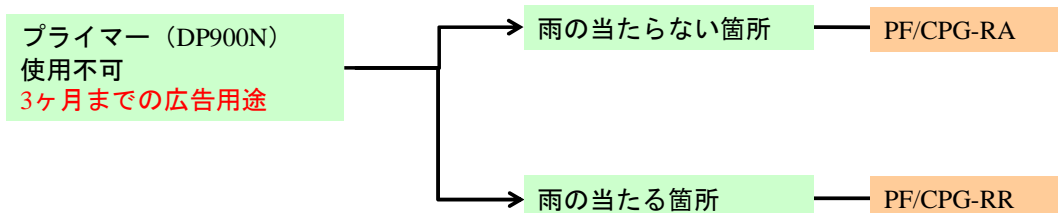
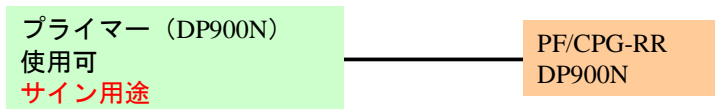
### 貼り付け仕様決定ワークフロー

本製品は使用用途により PF CPG-RA、および、PF CPG-RR 2 種類の粘着剤付きフィルムの使い分けを行います。また、用途に応じてプライマー（DP900N シリーズ）使用が必要になります。各仕様における推奨仕様は以下ワークフローを参照下さい

#### ■ 車両の通行（徐行）を伴う場合



#### ■ 車両の通行を伴わない場合（歩道への施工）



なお、各仕様別のフィルム耐久性は以下の通りです。

(あくまでも目安であり、用途や施工場所により耐久性（期間）が短くなる場合があります。)

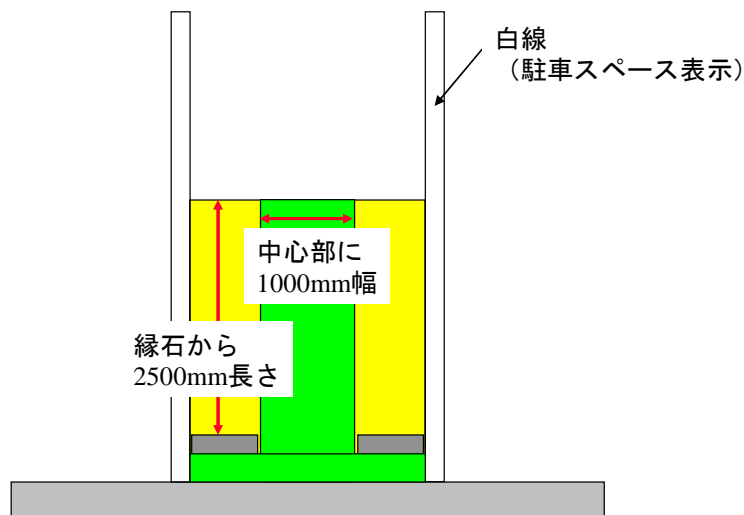
フィルム施工箇所	用途	使用フィルム	プライマー (DP900N)	耐久性
車両の通行がある箇所※	サイン・広告	CPG-RA	必須	6ヶ月程度
歩道	サイン	CPG-RR	必須	6ヶ月程度
	雨の当たらない箇所への広告	CPG-RA	無し	3ヶ月程度
	雨の当たる箇所への広告	CPG-RR	無し	3ヶ月程度

※現行製品では停止状態でタイヤの捻り（据え切り）を行う可能性がある場所への施工は推奨していません。

### 駐車場に施工を行う場合における注意点

駐車場へ施工を行う場合は以下の模式図をご参照ください（模式図は後ろ向き駐車を例に作成しています）。

- 本製品上でタイヤの捻じれは、劣化を著しく助長します。特に停止・低速状態でタイヤの捻りを行う可能性がある場所への施工は推奨していません。
- 模式図で緑色に塗られている箇所（駐車スペース中心部分 1000mm 幅で縁石から 2500mm までの長さ）はタイヤによる捻りのリスクが低い箇所です。この箇所には写真などのグラフィックスを施工することが可能です。
- 模式図で黄色に塗られている箇所（駐車スペース中心部分 1000mm 幅よりも外側で縁石から 2500mm までの長さ）は前向きに駐車された際等予期せずタイヤから捻られる可能性があります。そのため、この箇所は単色ベタ等外観不良が目立ちにくい画像にすることをお勧めします
- フィルムによじれや破れが発生した際は、本説明書内の補修方法を参考に補修が行えます。



## 貼り付け方法

以下の手順にて貼り付け作業を実施して下さい。

### 1. 位置決め

剥離紙を 50~100mm 剥がし、位置決めを行って下さい。

プライマーを使用する場合は、写真 1 の様にマスキングテープ等で周りを覆った後塗布して下さい。ただし、フィルムの端部には必ずプライマーがあるようにして下さい（プライマー塗布後、表面に光沢が出てタックが無くなればフィルムを施工することが可能です）。なお、プライマーを塗布する際にはむらの無いよう均一に塗布して下さい。また、プライマー乾燥時間はできるだけ長く取って下さい。



貼り付け位置



プライマー塗布箇所外観

### 2. 貼り付け（仮施工）

プラスチックキーまたは PFA-1 を用いて、1.で剥離紙を剥がした 50~100mm の箇所を圧着して下さい。その後、300mm 程度ずつ剥離紙を順に剥がし、圧着して下さい。なお、この時点では下地に完全に追従しません。

### 3. 仕上げ貼り付け(再圧着)

ゴムハンマーを用いてたたきながら圧着を実施して下さい。



施工風景



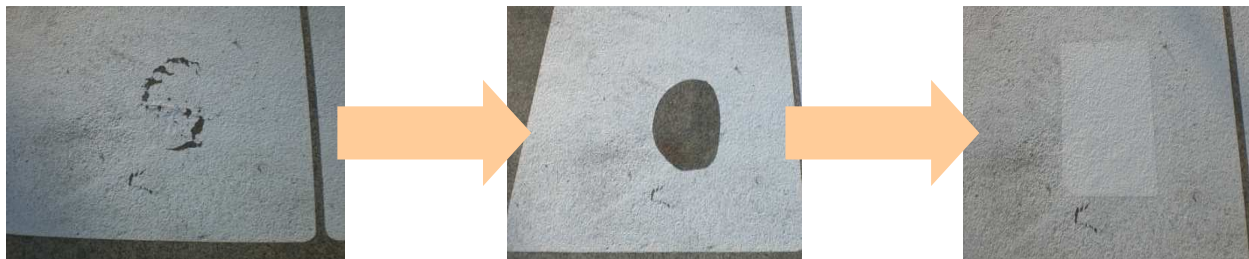
施工後外観

### 4. 全体確認

フィルムが貼り付け下地の凹凸と同じ凹凸表面に追従していることを確認しましたら作業終了です。（特にフィルム端部を十分に圧着し追従していることを確認して下さい。）

## 補修方法

フィルムが部分的に破れ等発生した場合、その箇所小さなフィルムを上から施工することで補修を行うことが可能です。以下の手順にて補修を実施して下さい。



フィルム破れ発生箇所

破れ発生箇所および  
その周囲を切り取ります

上記貼り付け方法と  
同じ方法で補修用  
フィルムを施工します。

補修直後は補修箇所とそれ以外の箇所で色の差が出てくる場合がありますが、時間と共にその差は小さくなります。


## 備考

- 本書に記載の数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 公道への施工は法律上、道路占用許可申請が必要です。絶対に無断で施工しないでください。
- 20km/時以上で走行される可能性のある箇所へは施工しないでください。
- 下地がもろく、割れたり、崩れたりする場所に貼り付けた場合、剥離時に下地が割れる可能性があります。
- 本製品上でタイヤの捻じれは、劣化を著しく助長します。特に停止状態でタイヤの捻り（据え切り）を行う可能性がある場所への施工は推奨しておりません。
- 貼り付け下地にプライマーを塗布した場合、原状復帰は出来ませんので、ご了承下さい。
- 施工後はなるべく24時間以上の養生を行ってください。
- 剥離時に路面の状態によっては糊が残る場合があります。
- 降水時、水分が溜まる環境への貼り付けは避けてください。
- 局所的に強い力が加わるとフィルムが裂けてしまう場合があります。製品上でバイクスタンド、除雪作業、家具や什器の移動などは避けてください。
- 部分的でもフィルムに剥離が生じた場合、補修を実施してください。
- 凹凸の大きなアスファルト下地、鋭利な骨材を含む下地では圧着時にフィルムに穴があく場合があります。
- 白線や黄色線などの他の表示材上に施工しないでください。十分な接着力が得られない場合があります。
- 新設のアスファルトやコンクリート、その他の新設舗装上には施工しないでください。十分な接着力が得られない場合があります。
- 目地のある路面材に施工を行った場合、短期間で目地箇所に金属層の露出やフィルムの穴あき等が発生する場合があります。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。

3M™ スコッチカル™ は、3M 社の商標です。

**3M**

 **住友スリーエム株式会社**

コマーシャルグラフィックス事業部

Please Recycle. Printed in Japan